

第5学年総合的な学習の時間活動案

1. 単元名 「環境考え隊～身近な環境ウォッチング～」

2. 指導観

○ こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、4年生の総合的な学習の時間において「〇〇の町再発見」に取り組み、ごみ問題という視点から地域の環境問題について考える経験をしてきている。5年生の1学期には、国語科の「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習を通して、生き物同士のつながりについて考えることができた。また、総合的な学習の時間には「ふるさと環境守り隊」で、日本各地の環境問題やその対策について調べ、伝え合うことで様々な環境問題があることを知った。しかし、紙類のリサイクルや省エネに対する意識は余り高いとは言えず、環境問題を自分の身近な問題としてとらえ、行動できている子どもは多いとは言えない。

○ このような学習で

本単元では、温暖化の問題に焦点をあてて、学習を行う。子どもたちは、今年の夏の暑さを体験し、温暖化についての報道を見聞きしていると思われるので、この問題をとらえやすいであろう。まず、温暖化の原因と現状、暮らしへの影響をみんなで学習し、大まかに問題を把握して課題を立てる。自分たちにとって身近な問題として実感し、追究活動をするために、空気、温度、木、水の4つのグループに分ける。次に、実験や観察を通して身近な問題を確かめ、インターネットや本、インタビューなどの方法を用いて追究活動を行う。この活動で「課題を解決する力」を養う。その後、追究したことを資料にまとめ、他の課題別グループの友だちに発表する。最後に、学んだことを自分の生活の中でどう生かしていくかを考え、話し合う。発表や話し合いの活動では、国語科で学習した発表の仕方・話し合いの仕方を生かして「表現する力」を高めていく。

本単元の小中連携教育の視点

この学習は、話す・聞く系統表の「相手に分かるように話す」「考えを比べながら聞く」「共通点や相違点を考えながら話し合う」「分からないことは質問する」を運用しており、中学校1年生の内容につながる上でも意義深いと考える。

○ このような支援で

まず、◇◇市の環境問題や温暖化の現状について、◇◇市環境局のゲストティーチャー（GT）から話を聞き、環境問題が温暖化と大きく関わっていることを知り、これから〇〇の環境問題について調べ、考えようという意欲を持てるようにする。次に、追究活動では課題別グループを作り、観察・実験などを行う際には、いろいろな場所での温度の違い・二酸化炭素量の違い・空気の汚れなどを調査していくよう助言する。発表の準備を行う際には、分かりやすいポスターにするために、絵や図、グラフ、表を効果的に使うよう助言する。その後、クラスの小グループで交流する場を設定する。それぞれのテーマについて調べたメンバーで小グループを構成し、できるだけ分かりやすく報告する必要感を持たせると同時に、質問や感想を出しやすくする。小グループで出た質問を持ち帰って、より分かりやすく伝えるために、次の発表の準備を行う。さらに、練り直した発表からお互いの考えをより深く知り、考えや感想を交流したり、気づきのチェック表により自分の生活を見直す場を作ったりして、温暖化についての自分なりの考えを持てるようにしたい。

3. 目標

- ・ 温暖化問題について関心を持ち、温暖化防止についての意識を高める。
- ・ 課題追究のための手順や方法を理解し、追究活動に主体的に取り組む。
- ・ 分かりやすく発表したり、共感的に聞いたりして、交流を通して学ぶ力を育てる。

4. 学習計画（18時間）

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点（※他教科との関連）
1. 地球温暖化について知っていることを話し合ったり、G Tの話を知ったりして活動への意欲を持つ。③	○ 副読本「わたしたちのまちの環境」を読み、G Tへの質問を考えたり話を聞いたりして地球温暖化への興味を高めておく。
2. 課題を決め、グループに分かれて調べる計画を立てる。① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">身近な環境の問題について調べ、温暖化の問題を考えよう。</div>	○ 空気・水・木・温度の4つのグループにする。
3. 課題について調べる。⑥ ○ いろいろな場所での温度の違い・二酸化炭素量の違い・空気の汚れ・水の汚れ調べ など ○ 緑化事業についての区役所へのインタビュー ○ 高温障害についてJ Aへのインタビュー	○ あらかじめ、環境問題を解決するために適当なホームページをサーバーに登録しておく。 ○ 本や資料を十分に準備しておく。
4. 調べて分かったことをポスターにまとめ、発表の準備をする。③	○ 発表資料として絵や図、グラフや表を入れて分かりやすく作るよう助言する。 ○ 図を指しながら述べる言い方を考えたり、問いかけを入れたりすることを助言する。
5. 発表練習をする。① ○ 国語科で学習した発表の仕方を生かす。	○ 発表するときの注意点を掲示しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">・原稿を見ないで ・資料を指しながら ・反応を見ながら ・問いかけをしながら</div>
6. 小グループで発表し質問や感想を出し合う。① (5の1本時) ○ 国語科で学習した聞き方を生かす。	○ 4つの課題が集まる小グループを構成し考えや質問を出しやすくする。 ※ 2学期に国語科で学んだ話し合い方を生かす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">・分からないことは質問する。</div>
7. 発表の修正や付け加えをし、温暖化対策について自分なりに考える。①	○ クラス内の課題別グループで話し合う場を作る。
8. 「環境会議」をする。① (5の2本時) ○ 暮らしの中でできる温暖化対策を考える。 ○ 国語科で学習した聞き方、話し合い方を生かす。	○ 話し合いのしやすい場を設定する。 ※ 2学期に国語科で学んだ話し合い方を生かす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">・考えを比べながら聞く。 ・共通点や相違点を比べながら話し合う。</div> ○ 気づきのチェック表を提示する。
9. 学習したことをまとめ、今後の行動に生かすことを考える。① ○ 「わたしの環境宣言文」を書く。	○ 自己評価のチェック表を提示し、振り返りができるようにする。

本時学習活動案（15／18）

公開授業 I

1. 本時の目標

- 交流を通して、温暖化が様々な原因で起こることに気づくことができる。
- 温暖化の現状や取り組みについて、感想を話し合うことができる。
- 調べたことや自分の考えを、友だちに分かりやすく発表することができる。

2. 本時の支援・指導にあたって

本時の仮説

以下のような手だてを取れば、子どもたちが温暖化は様々な原因によって起こり、自分たちにとって身近で、深刻な問題であると気づくであろう。

- ・ 国語科で学習した発表のポイントを生かして課題別グループで調べたことを分かりやすく発表する。
- ・ 4つの課題が集まる小グループを作り、発表を聞き合うことで、質問や感想を出しやすくする。

子どもたちは前時までに4つのグループに分かれ、実験や観察をすることで、地域の温暖化問題について学び、各自が学んだ内容を発表資料にまとめている。

本時は、地域の温暖化問題や温暖化防止の取り組みについて認識を深めることをねらいとしている。

そのために、課題別グループで学んだ地域の温暖化問題の現状や取り組みについて、クラスの小グループで交流するようにする。様々な考えにふれられるように、4つの課題別グループのメンバーで構成する小グループを作っておく。話す側にとっては、友だちにより分かりやすく伝える必要感が生まれ、聞く側にとっては質問が出しやすくなり、理解を深めやすくなると考えられる。その際、国語科で学習した「相手に分かるように話す」「分からないことは質問する」を生かすようにする。また、発表を聞いた後、心に残ったことをメモに残し、全体での感想の交流をしやすくする。

全体で感想を交流する場では、感想の中から温暖化につながる言葉を板書し、温暖化は様々な原因で起こること、自分たちの生活とつながっていることに気づくことができるように工夫する。

次時からの、温暖化防止のために自分たちにできることを考える学習につなげていきたい。

本時の小中連携教育の視点

本時は、国語科で培った〇〇小・〇〇中の話す・聞く系統表の「相手に分かるように話す」「分からないことは質問する」を運用する。これは、中学校1年生の話し合う力に発展していくための基礎となるものである。

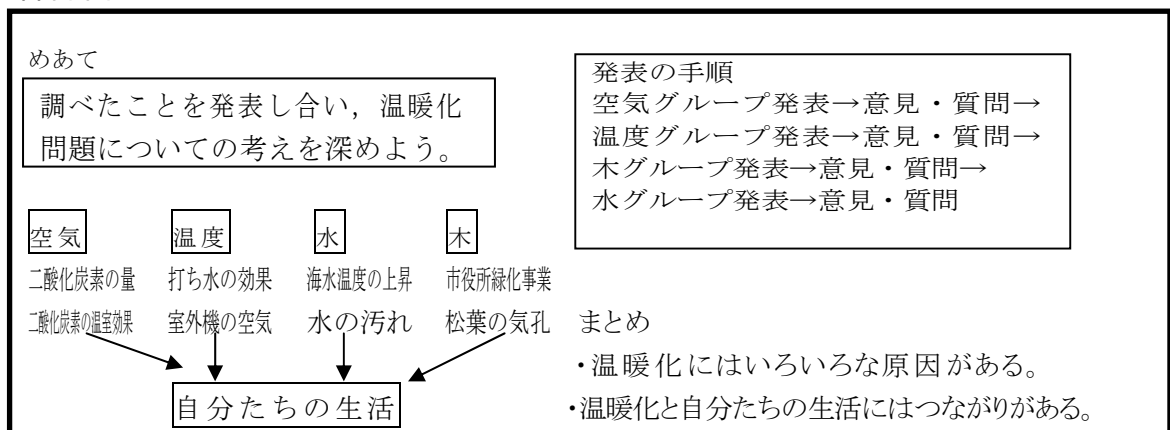
3. 準備

- (教師) 学習プリント
(子ども) 発表資料 総合ファイル

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="151 286 670 376" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調べたことを発表し合い、温暖化問題についての考えを深めよう。</p> </div> <div data-bbox="151 392 670 622" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発表の手順 空気グループ発表→質問→感想記入→ 温度グループ発表→質問→感想記入→ 木グループ発表→質問→感想記入→ 水グループ発表→質問→感想記入</p> </div> <p>2. 課題別グループで調べてきたことを、小グループで発表し、質問や意見を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気グループ <ul style="list-style-type: none"> ・○○校区の二酸化炭素量の違い ○ 温度グループ <ul style="list-style-type: none"> ・打ち水の効果 ○ 木グループ <ul style="list-style-type: none"> ・市役所緑化事業の取り組み ○ 水グループ <ul style="list-style-type: none"> ・海水温度の上昇について <p>3. 小グループで交流しての感想を全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化にはいろいろな原因があるんだな。 ・校区内でも違いがあるのに驚いた。 <p>4. 本時のまとめを行い、次時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習で作った資料をもとに、交流の視点を明らかにして、本時の活動に向けての意欲がもてるようにする。 ○ グループ交流の手順を確認し、本時の学習に対する見通しがもてるようにする。 ○ 発表するときのポイントを掲示しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見ない ・資料を指しながら ・聞いている人の反応を確認しながら ・問いかけをしながら ○ 聞く側の子どもには、メモを持たせて、質問交流後に感想（初めて知ったこと、びっくりしたこと等）を記入させ、次の活動への手がかりになるようにする。 ○ 発表する子どもには、質問されて分からなかったことをメモしておくように助言する。 ○ 子どもたちの感想の中から、温暖化のポイントとなる言葉を板書し、自分たちの生活とのつながりに気づくことができるようにする。 ○ 次時、発表の修正や付け加えを行い、温暖化防止のためにどんなことができるかを考えていくことを知らせる。

5. 板書計画



本時学習活動案（17／18）

公開授業Ⅱ

1. 本時の目標

- 温暖化防止の視点で、自分のくらしを見直すことができる。
- 意見の交流の中から、環境問題について自分にできることを考えることができる。

2. 本時の支援・指導にあたって

本時の仮説

国語科で学習した「考えを比べながら聞く」「共通点や相違点を考えながら話し合う」を生かして意見を交流することで、自分のくらしとつないで温暖化問題をとらえ、環境を守るために、自分のくらしの中でどう行動していくか自分なりの考えを持つことができるであろう。

前時までに、子どもたちは4つの課題別グループで学んだことを交流し、質問や考えを出し合っている。グループに出された質問や意見をもとに、発表を見直し補強してきている。また、温暖化防止について、自分なりに考えている。

本時は、課題別グループの発表をもとに、現実の生活の中で温暖化を食い止めるために、自分にできることは何かを考えることをねらいとしている。まず、グループで発表を行い、互いの考えについての理解を深める。次に、発表に対する意見の交流を行う。その中で、温暖化が自分たちの日常のくらしと深く結びついていることを明らかにしていく。その際、それぞれの考えを比べられるように板書し、国語科で学習した「考えを比べながら聞く」「共通点や相違点を考えながら話し合う」を生かし、話し合うようにする。最後に、気づきのチェック表をもとに、自分ができていること・むしろかしいことを振り返らせるようにする。そうすることで、考えを行動に移す困難さが実感でき、自分に何ができるか、より深く考えることができるであろう。

本時の中で、友達の様々な意見にふれることによって、自分の問題として温暖化問題をとらえ、一人一人が自分なりの考えを持てるようにしていきたい。

本時の小中連携教育の視点

本時は、国語科で培った話す・聞く系統表の「考えを比べながら聞く」「共通点や相違点を考えながら話し合う」を運用する。これは、中学1年生の聞く力・話す力に発展していくための基礎となるものである。

3. 準備

- (教師) 気づきのチェック表
- (子ども) 総合ファイル
- 代表児のポスター

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点
<p>1. 本時の環境会議のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わたしたちは、温暖化を食い止めるために、くらしの中で何ができるか考えよう。</p> </div> <p>2. 代表児の発表を、自分の毎日のくらしとどうつながっているか考えながら聞く。</p> <p>3. 各グループへの質問や感想を述べ、テーマについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖化防止のための行動を話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気を消す ・ 植物で日差しをさえぎる ・ 使い捨ての物を使わないなど ○ 考えとその理由を述べる。 <p>4. 気づきのチェック表を書き、感想を出し合う。</p> <p>5. 学習のまとめをし、次時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の交流を振り返り、視点を明らかにして、本時の交流に向けての意欲を持たせる。 ○ 前時の資料を掲示しておく。 ○ 各グループの発表を比べて、共通点や相違点を考えながら、自分の考えを述べるよう助言する。 ○ 考えを比べやすいように、出てきた意見をエネルギー、自然、物の3つに分類して板書する。 ○ 自分のくらしと温暖化をつないで考えた発言を賞賛する。 ○ 気づきのチェック表で自分の実際の生活を多様な視点で振り返らせ、できていること・難しいことを実感させる。 ○ 温暖化を食い止めるためには、一人一人の考えや行動への努力が必要であることをおさえ、次時、「わたしの環境宣言」を書く意欲を持たせる。

5. 板書計画

